

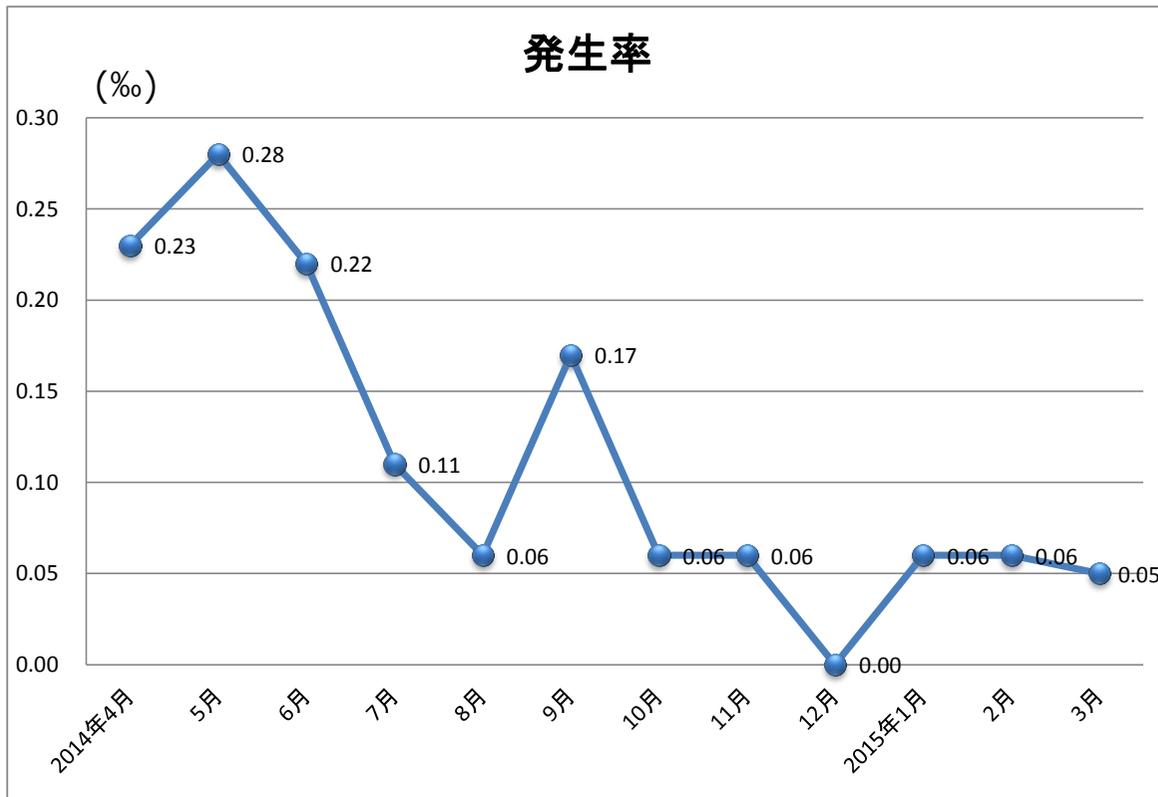
分子 発生件数

分母 計測期間における、延入院患者数

年月	2014年4月	2014年5月	2014年6月	2014年7月	2014年8月	2014年9月	2014年10月	2014年11月	2014年12月	2015年1月	2015年2月	2015年3月	年間
分子	4	5	4	2	1	3	1	1	0	1	1	1	24
分母	17,314	17,983	18,032	18,245	17,592	17,351	18,087	17,702	18,166	17,172	16,954	19,316	213,914
発生率(‰)	0.23	0.28	0.22	0.11	0.06	0.17	0.06	0.06	0.00	0.06	0.06	0.05	0.11

・計算式 パーミル(‰)

・入院患者1000人あたり何人 Ⅱ度以上の新規褥瘡が発生しているかを表している 分子/分母×1000

**<解説>**

褥瘡の発生は、患者さんの生活の質(QOL)を低下させる要因となり、また褥瘡部位から感染症を発生した場合、他の疾患に対する治療に影響を与えるだけでなく、敗血症から死に至ることもあります。患者さんの状態によっては褥瘡の発生予防が困難な場合がありますが、褥瘡対策に関する診療計画に基づいて、適切な褥瘡対策を行っていくことが求められます。